



3年通信

第18号
2013年1月9日

尾張旭市立東中学校

この通信は、3年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。

<http://www.owariasahi.jp/higashi-j>

編集：深谷男子

明けもついで
お正月の行事も。



今年**巳年**。「巳」にはどんな意味があるのか広辞苑やウィキペディアで調べてみました。

「巳」は、十二支の6番目。「巳」の字は「止む」意味で、草木の成長が極限に達した状態を表しているそうだ。

「巳(み、し)」という字は、胎児の形を表した象形文字で、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているとも言われ、「起こる、始まる、定まる」などの意味がある。「巳」を動物にあてはめると「蛇」になるが、古来より、蛇は信仰の対象となっており、谷神、豊穰神、天候神などとして崇められてきた。また、蛇は脱皮をすることから「復活と再生」を連想させる。蛇は「神の使い」として崇められ、全国各地に蛇神を祀っ

ている神社がある。蛇の抜け殻を財布に入れて蓄財を願うなど、お守りにする風習が今でもみられる。

巳の特徴は探究心と情熱。蛇は執念深いとされ、恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しをすると囁かれている。

○蛇(巳)のつく言葉には、「蛇腹(じやばら)」とか「蛇の目(じやのめ)」のように模様をたとえた言葉があります。

他には、「蛇行(だこう)」「蛇のように曲がりくねって行くこと。」

「蛇足(だそく)」「(なくてもよい無駄なもの)

「長蛇(ちやうだ)」「(長いもの)のたとえ。」

などがあり、日常会話の中で使われる言葉なので、聞いたことがあ



○蛇にまつわることわざには、

「蛇の道は蛇」(同類の者は互いにその事情に通じ、同類のすることは同類の者には容易に分かる)

「蛇に見込まれた蛙」(恐ろしさに身がすくんで動けない)

「蛇は一寸にして人を呑む」(蛇は一寸ほどのときから人を呑む勢いを示す。才ある人は幼少の頃から他人を圧倒するものがある。)

など、蛇の恐ろしさに由来するものが多くみられます。

この一年、「長蛇を逸する」

(惜しい獲物や大事な機会を取り逃がす)ことのないようにしたいですね。また何事も「竜頭蛇尾」(初めは勢いがよいが、終わりは振るわな

い)ではなく、地道に努力することを忘れず過ごしたいですね。

さあ、いよいよ自分の進路に向けてラストスパートをかける時期であり、仲間と共に過ごす貴重な時間でもあります。卒業まで57日。

始業式の日、生徒たちが「今年はどこも行けなかった」「お年玉が〇万」「朝から夜まで塾などと話してくれました。私も今年はどこにも行けず、部活と大掃除とテレビでのスポーツ観戦で終わりました。

そんな中、「箱根駅伝」で日体大が往・復路に優勝したのに感動しました。昨年19位参加20チームでした。屈辱の繰り上げスタートから一年。悔しさを忘れまいと、食堂に昨年のつながり、なかつた襷(たすき)を飾り、予選会から目指す箱根に向け、チーム全体で生活面を根本から改善。午後10時の消灯時間厳守、食事やグラウンドの掃除は全員で、当たり前のこと当たり前にする生活からチームを立て直したぞうです。

私たちも何か大事なことをしようとするとき、「当たり前のこと」を当たり前、当然のようにできる力が必要なかもしれません。

